



福島県南相馬市立原町第二中学校 学校だより第2号 令和3年4月26日(月)
発行者:校長 和田節子 TEL (0244)22-4188 E-mail : haramachi2-j@fcs.ed.jp

からくさ



【教育目標】 自律 探究 協働

【重点目標】 目的意識を持ち、自ら発案し行動する生徒

南相馬の「魅力」と「課題」に迫ろう

今年度、総合的な学習の時間では、「南相馬の魅力と課題」について探究活動を行っていきます。1年生のテーマは「南相馬×いいもの、いいところ」、2年生は「南相馬×いいひと、いい仕事」、3年生は「南相馬×いい暮らし」です。先週は1、2年生を対象に(株)小高ワーカーズベース代表取締役の和田智行さんと、(株)やまさん代表取締役で前PTA会長の谷田部真敏さんによる基調講演を行いました。

- ☆ 震災後の小高で活動するのは、真っ白なスケッチブックに自由に絵を描いていくようなもの。何もないということは何でもできるということ。
- ☆ 困っている人がいれば、それを手助けする仕事を考える。
- ☆ 地域の100の課題から100のビジネスを創出する。
- ☆ 南相馬の魅力って何？ わからないなら自分が南相馬の魅力になる。
- ☆ 一人一人が輝けば、それが地域の魅力になる。
- ☆ 魅力的な人がいるところに魅力的なものが生まれる。
- ☆ 作って、作って、売りまくる時代は終わった。これからの企業は周りのことを考えて、みんなが幸せになる方法を考えていかなければならない。それがSDGs。

皆、真剣に聞き入り、ワークシートに書き切れないほどメモをしている生徒もいました。振り返りの時間には、「時代の変化に適応しながらお店を変化させているところがすごい」「今、南相馬で必要とされている事業は何かを考えていきたい」「自分から行動を起こせる人になりたい」など、たくさんの感想が出されました。



生徒に大きなインパクトを与えてくださったお二人に心から感謝申し上げます。

この対談を出発点として探究活動を進め、今年度の重点目標である「目的意識を持ち、自ら発案し行動する生徒」の育成をめざしていききたいと思います。